

四谷地区における区立小学校の通学区域の見直しや緩和等の検討に係る地域説明会質疑応答等

1. 意見（要旨）

連番	区分	意見（要旨）
1	1.見直し全般について	最終的に通学区域の見直しは必要
2	1.見直し全般について	今の通学区域を変えないで、隣接した小学校に行けるのであれば簡単な手続きで行けるようなやり方ではダメなのではないでしょうか。
3	1.見直し全般について	今まで四谷小学校の通学区域だと思っていたところを、急に花園小学校だと言われた当事者としては、ただ通学距離が短くなると言われても、なんとなく漠然とした不安がある。
4	1.見直し全般について	いずれは通学区域の見直しをしなければいけないことは理解できる。
5	1.見直し全般について	このような状況に至った背景や、通学区域を見直した場合に生じる様々な課題（お祭りなど）を理解しないで、単に児童の数合わせのための見直しを提案されても賛成はできない。
6	1.見直し全般について	子ども目線に立って安心安全という視点で考えてもらいたい。
7	1.見直し全般について	これまでも四谷小学校の人数の増加については意見をしてきたが、それでもまさか通学区域変更の話が出るとは思わなかった。
8	1.見直し全般について	四谷小学校の子どもたちが、トイレもままならない現状を考えると対策を講じることは仕方ない。
9	1.見直し全般について	児童数が少なく、クラス替えがないと友達が少なくなる。隣に大きい学校があるのであれば地域のことも考えながら調整してほしい。
10	1.見直し全般について	花園小学校の運動会と須賀神社のお祭りが重ならないように配慮するなど、地域の行事やイベント、運動会や学校行事のことも考えながら検討してほしい。
11	1.見直し全般について	子ども目線、親目線で検討してほしい。
12	2.検証資料・通学区域の分け方について	検証資料は、検証資料7（四谷四丁目と富久町8番・9番を花園小学校へ変更）がベースにあるように感じる。
13	3.緩和策について	緩和措置についてはマストにしてもらいたい。
14	3.緩和策について	児童数の推計も予定どおりにはいかないことや、歴史的な問題などを踏まえると、通学区域は変えないで、希望する学校に行きやすくするような緩和措置を強く押し出した方が良い。
15	3.緩和策について	緩和策はあったほうが良い。

四谷地区における区立小学校の通学区域の見直しや緩和等の検討に係る地域説明会質疑応答等

1. 意見（要旨）

連番	区分	意見（要旨）
16	3.緩和策について	他自治体事例の緩和策（通学区域の変更等に伴い、変更した地域にお住まいの対象者は、変更前の通学区域の学校も希望により選択可能とする）を強く要望する。
17	3.緩和策について	緩和策については選択肢は広めに、指定校変更の要件に関しても緩和してほしい。
18	4.環境整備・魅力向上について	花園小学校に学童保育を新設してもらいたい。
19	4.環境整備・魅力向上について	子育て中の方がもっと積極的に選べる環境を整備すれば、花園小学校の魅力が向上し、四谷小学校の児童数の増加も緩和される。
20	4.環境整備・魅力向上について	四谷小学校の周りでは民間学童などがあるが、花園小学校周辺では学童や民間塾があるのか分からず、子どもがどのように学校生活を送れるのか心配である。子育て環境を整備してほしい。
21	4.環境整備・魅力向上について	花園小学校も四谷小学校も校内学童はない。この界限で校内学童があるのは富久小学校と四谷第六小学校である。花園小学校や四谷小学校にあるのは放課後子どもひろば（プラス）である。
22	5.周知・説明について	今回の検討の話は唐突な印象を受けた。周知期間をもう少し伸ばしてほしい。
23	5.周知・説明について	町会長に説明をされても、高齢の方ばかりのため、良し悪しは判断できない。該当地域の保護者の意見を聞いてほしい。
24	5.周知・説明について	検討協議会ができる前にもう少し下準備でいろいろ根回しをしてほしかった。
25	6.四谷ひろば等の活用について	四谷ひろばの活用を検討してほしい。
26	6.四谷ひろば等の活用について	四谷ひろばを小学校に戻したら良い。
27	7.通学時の安全面について	通学距離も、通学区域内でバラバラ。そもそも通学区域の作り方がおかしい。例えば、須賀町や左門町の通学区域は四谷第六小学校だが、この地域が四谷小学校であれば5分以内で通学できる。四谷第六小学校が通学区域であることで通学距離や時間が3倍程度かかり、大通りも二本通ることになる。
28	7.通学時の安全面について	安心・安全に子どもを毎日学校に通わせられるように考えてほしい。